



築川ダム建設工事 定礎式を開催！

河川課
築川ダム建設事務所

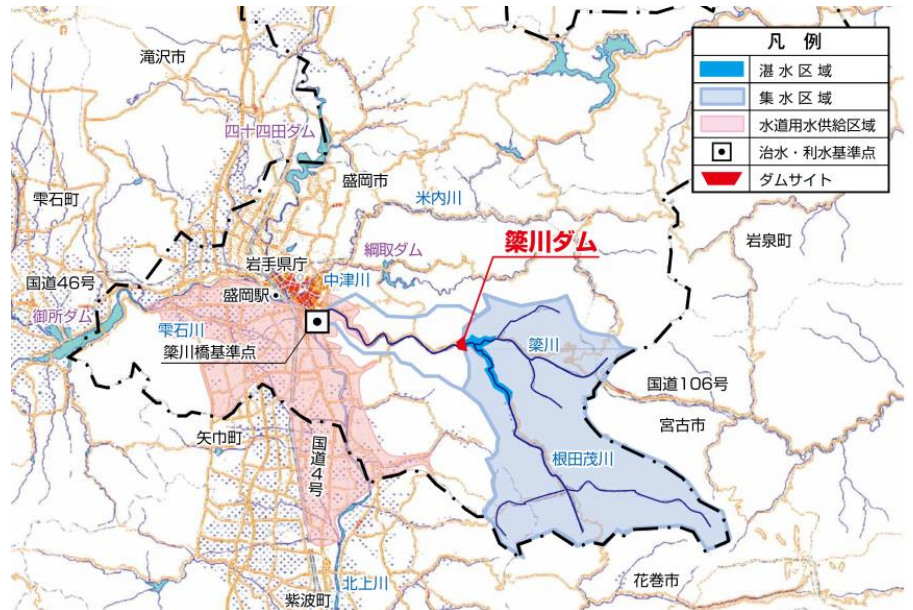
1 これまでの取組

築川ダムは、北上川と築川の合流点より約12km上流に位置し、**築川の治水対策、盛岡市及び矢巾町の水道用水の確保、発電、流水の正常な機能の維持**を目的として建設する多目的ダムです。

ダム事業は昭和53年度から調査に着手し、平成25年に付替道路の国道106号「築川道路」(復興道路)が開通し、ダム本体工事は平成26年に工事契約となりました。これまで基礎掘削工事や、ダムコンクリートを製造運搬する仮設備工事などを進めてきましたが、これらの工事が完了し、今年4月1日の初打設式を経て今回の定礎式となりました。

(計画諸元)

型 式	重力式コンクリートダム	
堤 高	77.2m	
堤 頂 長	249.0m	
堤 体 積	228,480m ³	
総貯水容量	19,100千m ³	
有効貯水容量	16,700千m ³	
湛水面積	0.97km ²	
総事業費	530億円	
工 期	平成32年度完成予定	



2 定礎式の様子

定礎式で埋納した礎石は、ダム建設現場から産出した珪質粘板岩で、礎石に刻まれた文字は達増知事が揮毫(きごう:毛筆で文字を書くこと)しました。

南部火消伝統保存会の木遣り唄にあわせ県職員とJV職員により礎石が運搬され、達増知事、谷藤盛岡市長、高橋矢巾町長、国交省黒川水資源部長により礎石を鎮定(ちんてい:礎石をダムに接合すること)しました。



礎石を搬入する県職員とJV職員



知事、盛岡市長、矢巾町長、国交省水資源部長による鎮定

礎石の埋納には、総合学習として「ダムのおはなし&築川いきもの調査」を毎年一緒に活動している中野小学校5年生の代表児童6人も参加しました。中野小児童のみなさんの将来の夢や希望を書いたメモリアルストーンも埋め込み、代表児童の将来の夢や希望をインタビューで聞きました。「家族が笑顔で暮らして長生きしてほしい」など、みんなの願いが築川ダムに込められました。



中野小5年生への将来の夢や希望をインタビュー

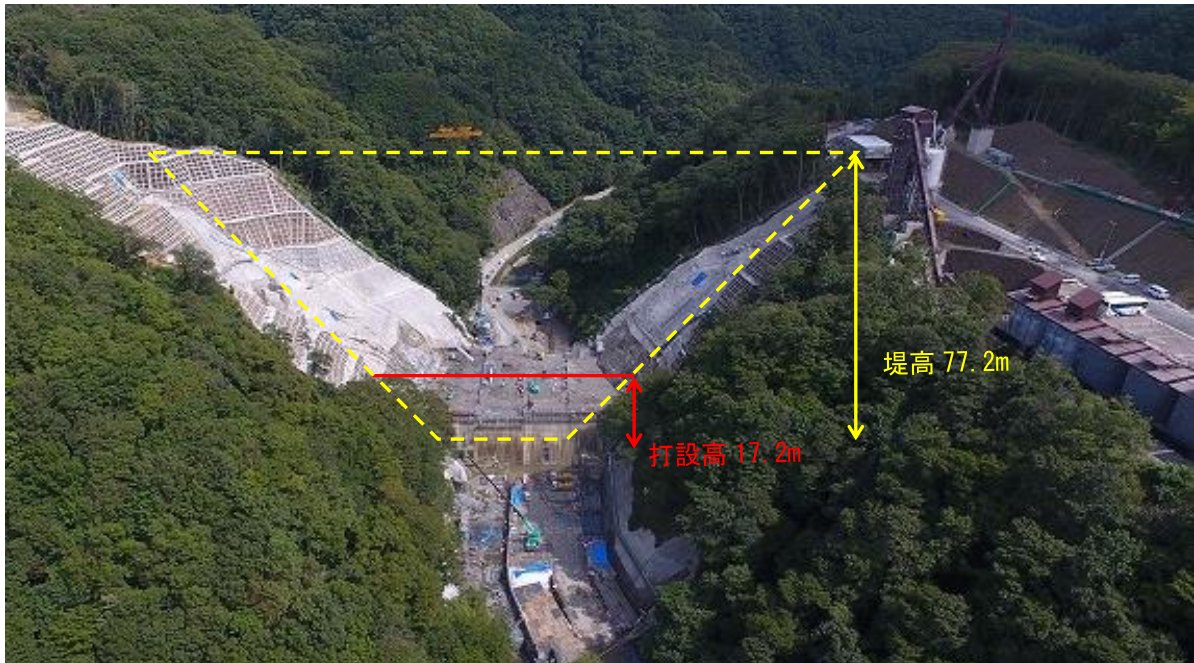


礎石の傍らに中野小児童のメモリアルストーンも埋納

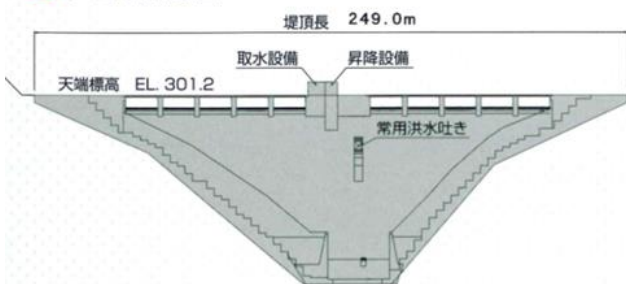
3 築川ダムの完成に向けて

平成29年9月末現在で河床部から17.2mの高さまでコンクリート打設が終了し、全体高さ77.2mに対する進捗率は22%となりました。平成31年までに約23万m³のコンクリートを打設していきます。

築川ダムが安全で快適な郷土の創造と地域の更なる飛躍に寄与できるよう、平成32年度の竣工に向けて鋭意取り組んでいきます。



■ ダム下流面図



■ ダム断面図

